

おおづまち議会だより OZU

2023
104号

今月の定例会は

12月 3月

9月 6月

本会議動画配信
配信中



議会だよりが
読めるアプリ

マチイロ



大津小学校生が議場で出前講座
(詳しくはP14)

大津町のこんなことが決まりました



6月定例会議

会期期間10日間 6月7日～6月16日

6月定例会議の議案等は

予算……………	2件
条例について……………	2件
人事……………	16件
その他……………	7件

pick up 1

LPガス使用世帯支援補助
1世帯6千円
6,930万円

pick up 2

農業経営者への負担軽減補助
5,550万円



きむら なおき

木村 直貴さん（繁殖農家）

現在、畜産農家はウクライナ情勢、円安による飼料・生産資材の高騰に苦しんでいます。また、子牛価格の低迷も続いています。個々の低コストの取り組みも限界です。この補助金、大変ありがたく利用させていただきます。

pick up 3

体育施設修繕・補修
1,250万円



たなか ゆい

田中 由維さん（熊本トランポリンクラブ大津教室）

以前は照明が半分ほどしかついていませんでしたが、全部つくようになり、活動がしやすくなりました。後は雨漏りがひどいので、菊阿体育館がこれ以上傷む前に補修していただけるとありがたいです。

pick up 4

道路交通調査業務委託
1,000万円



pick up 5

学校給食用食材費補助
(年間約2,400円)
960万円

物価高騰の影響は学校給食で使う食材も例外ではありません。今回の補助金は給食用の食材の値上がり分を補助していただくものです。主なものとしては、主食の米飯・パン及び牛乳の3品目で年間約490万円、副食(おかず)分として約480万円、合計960万円となります。

pick up 6

おむつ処理費用補助
190万円



かとう さとみ

加藤 里美さん（ちゅうりっぶ保育園 園長）

当園では3月からオムツを園で処分しているため、処理費用の補助は助かります。オムツを持ち帰るために1人ずつ分けなくてよいので、ひとまとめに処理でき、保育サービスの向上や保護者の負担も軽減するので、安心につながると 생각합니다。

pick up 7

バス安全装置設置補助
110万円



おおつか とおる

大塚 融さん

(大津あゆみ園 あゆみキッズクラブ)

バス安全装置設置補助のご支援を頂き、大変感謝しております。バスは子どもたちの移動手段として重要な役割を果たしており、安全性は何よりも最優先の課題なのでとても助かります。大津

あゆみ園でも送迎を行っています。障がいの施設の方でもご支援していただけると助かります。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍 一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富 三夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貢	時松 智弘	田代 元氣	大村裕 一郎	賛成 ○	反対 ●
「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書	—	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
消費税インボイス制度による小規模事業者の事業運営への影響に配慮する措置を求める意見書の提出について	—	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) ▲は(棄権) △は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索

消費税インボイス制度による小規模事業者の事業運営への影響に配慮する措置を求める意見書への討論

反対討論 豊瀬 和久

- 1、中小企業の方々の困り事がどこにあるのか明確にする必要があると思うが、意見書には、事業者が、どのように困っているのかが具体的ではない。
- 2、国に求めている内容も、すでに国が税負担と事務負担の軽減や補助金などの支援策を用意していることなどを考慮した上でどのような支援を求めるのが明確ではない。

賛成討論 時松 智弘

- 1、請願は当初インボイス制度の反対・中止を求める内容であったが、委員会における参考人招致を経て、インボイス制度は違法ではなく免税事業者の生活を圧迫するとする根拠はないため、法と住民生活の実情に照らした内容に文言を修正している。
- 2、新法の運用にあたっては、施行の経過措置期間に十分に配慮が求められるべきであり、小規模事業者の懸念に対し十分応えている内容と判断するため賛成する。

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

本会議動画配信



佐藤 真二議員

問 下水道事業計画の変更について縦覧していることの周知はどのように行ったのか。
正確に住民に知らせ、その結果をプロセスとしてホームページに残していくべきではないか。

答 変更計画案については都市計画法に基づき公告縦覧を行い、ホームページにも掲載した。その後、都市計画審議会、県の協議を経て決定した変更計画作成にあたっては、対象者への住民説明会も開催している。

山部 良二議員

問 保育所など送迎用バスの安全装置の不具合や故障がないかの点検を事業者徹底することや、装置は補助的役割であることを周知する必要があるのではないか。

答 運転手がバスの中を見回り、児童が残っていないことを確認することが基本で、義務化されているが、それを補うのが安全装置。
また、装置の点検をはじめ、安全対策のマニュアル策定なども促進する。

豊瀬 和久議員

問 道路交通調査はどのように調査してどのように活用するのか。
すぐにできるソフト的な渋滞対策についてどのように考えるか。
スピード感を持って実施していただきたい。

答 調査内容は県によって進行方向別や、時間帯別に車両の流れを観測する交通量調査、または青信号の間に通過することが出来ない車列の長さなどを測定する渋滞調査を予定している。
この調査結果を分析することで、ソフト的な対策も含めた改善策をスピード感を持って検討していきたい。

時松 智弘議員

問 保育園の使用済みおむつ処分負担の補助について、保育士が子どもを丁寧にケアする観点では出てくるごみの量も相当多いのではないか。積算の根拠になっている重量の平均や処分費用などを考慮し、手厚く見直す考えはないか。

答 補助の運用状況を確認し、私立も含めた園の連絡会議などもあるので、そういうところで意見を聞きながらこういった形がいいか調査研究していきたい。当面は、一人300円の補助として積算をしているので、まずはその方向で運用していきたい。

荒木 俊彦議員

問 道路交通調査委託は、TSMCに関する調査のみを予定しているのか。
県が国道325号と大津植木線の交差点を調査していたが、バラバラに調査するのではなく、県や周辺自治体と合同で調査し情報を共有することが大事ではないか。

答 町において実施する調査は、TSMC関係に限定するのではなく、町全体で現に渋滞が発生している箇所を幅広く調査する予定としている。
この調査結果をもとに改善策を検討することになるが、広域的な視点で効果的な対策を検討するためにも、県が近隣市町村で実施した調査結果を共有していただくことにしている。

永田 和彦議員

問 町所有の学童送迎用のバスの貸与について判断するためにも、例えばバスの値段、償却年数などを勘案して経費的なメリットを示すべきでないか。

答 バスが別の社会福祉法人から返還された際に、その後の利活用についてどのような事業で活用することができるかなど管理経費も含めたところでの検討がなされている。

委員会レポート

文教厚生



経済建設



総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

総務委員会	総務、企画、会計、財政、環境、住民、議会
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、下水道、農業、都市計画
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育、生涯学習

総務委員会 レポート

未来へつながる 施策・対策の推進を



物価高騰の一助になる補助を

**LPガス使用世帯
支援補助金の給付方法は**

① LPガス使用世帯支援補助金は、使用料金からの差し引きではなく、現金を給付するとなっているがその方法は。

② 使用世帯からの申請を各ガス販売店が受け付け、町が補助金を交付して使用世帯に補助される。

使用料からの差し引きとなれば各販売店での手続きが煩雑になるため、現金給付する。

以前は各行政区に実績なども周知していたが改めて周知を図りたい。

意見 行政区嘱託員が交替時に過去の書類の紛失や、引継ぎがうまくいっていない行政区がある。他の制度も含め漏れがないよう周知をお願いする。

③ コミュニティ助成事業の事業申請の流れは、行政区が事業計画を策定し、町が取りまとめて県を経由し、自治総合センターへ提出されるが、活用促進のため実績や事業スキームを周知、配布してはどうか。

④ 今回は採択されたが、採択されない場合もある。

**コミュニティ助成事業
の周知漏れはないか**



助成事業を活用して導入した
コミュニティ無線機

経済建設委員会 レポート

施設や道路の整備へ向けて

道路の交通量調査 の実施状況は

◎ 今回、大津町道路交通調査業務委託において、1,000万円の計上があるが、これまでも同様に何年か毎に町内の道路の現状や交通量の調査を実施してきたのではないのか。

▲ 大規模な調査を実施するのは、今回が初めてとなる。今回の業務委託は町内で渋滞が発生している町道を主に、現在の状況を調査し、その結果からどのような対策を行えば、どのように車両の流れが改善するのかといったシミュレーション解析まで行い、渋滞対策の方法を検討する。



交通量調査の様子

山村広場の屋外トイレは



山村広場のトイレ

◎ 山村広場屋外トイレ改築工事実施設計業務委託に関して、指定管理全体的話にはなるが、一度専門職による確認を行い、修繕等の必要額を見直すべきではないか。次から次に問題が出ており、予算が膨らむ一方ではないか。

▲ 今回の補正予算では、当初予算で計上している改築のための設計業務委託の財源充当を行っている。改築工事は数千万円規模になるため、財源も含め、担当の生涯学習課と協議しながら、全体的な費用を洗い出し、検討していく。

文教厚生委員会 レポート

負担軽減と事業の周知を

おむつ処分の対応は

◎ 今回、0～2歳児が対象だが、3歳以上のおむつが外れていない子どもも幼稚園も含め一定数いると思うが、どのような対応を行うのか。

▲ 3～5歳児の使用済みおむつについても保育園、認定子ども園で処分されるが、0～2歳児のいない公立幼稚園2園についても町で対応できるよう考えたい。

意見 新しい取り組みのため、運用を注視し、事業を推進してもらいたい。



給食費補助の状況は

◎ 昨年度と比較し補助の単価が上がっているが、全体的に食料費が値上がりしているのか。

また、このような補助があることで給食費を上げずに済んでいることを保護者などにも説明すべきではないか。

▲ 昨年度と比較し、パンと牛乳の値上げが主な要因である。

また、保護者への周知についても、給食運営委員会での説明と分かりやすい周知を行っていきたい。



学校の給食

一般質問

町政を問う 6月定例会

一般質問に16名中11名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。

一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。

※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q 平川流域を準用河川に指定し防災推進を

A 有利な国庫補助が受けられるよう取り組む



ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



水没の危険がある北小学校周辺地域

Q 昨年度予算で作成した洪水土砂ハザードマップによれば、平川流域の大津北小は3メートル以下の浸水が想定されている。

白川流域とは違い、阿蘇地域の雨量により予測がつかめるといふ特性ではなく、平川は、急激に狭まった地形で大量の雨が降れば、鉄砲水などが突如発生し、避難の時間に猶予がないことが明らかだ。

社会資本整備総合交付金、防災安全交付金を活用するため、該当河川区間を準用河川に指定し、河川防災対策のみならず周辺のインフラの強化をも行う考えはないか。

A 財源的に有利な補助事業がないため、他の財源を模索しながら、同時に、防災対策整備に有利な国庫補助が受けられるよう、平川の準用河川格上げに取り組む。

今回の調査で北部地域の危険箇所想定ができ、見える化を図った。引き続き、行政区と協議を重ねながら、いち早く住民の安全安心を確保する。

(町長)

町長による指定によって準用河川に格上げすることは可能だ。

接続する2級河川管理者の県と管理方法や細部打ち合わせを経て、準用河川指定を町として行う。

(都市整備部長)

その他の質問

- ・南海トラフ巨大地震及び阿蘇山大規模噴火災害時の避難者受け入れは。
- ・防災士アドバイザーの活用と地区防災計画の整備、熊本地震の経験の伝承、後世に伝えるための取り組みは。

Q スピード感のある安全対策を

A 関係機関と連携して交通安全に努める

※1 通学路交通安全プログラムとは →



とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



室小学校通学路の現状



その他の質問

- ・区画整理事業について
- ・小中学校体育館へのエアコン設置について
- ・健康維持者を増加させる取組について
- ・自転車用ヘルメット購入費用への補助について

Q 道路管理者や、警察、県などの関係機関で合同点検を実施して判明した危険箇所に対して、速度規制などのソフト対策とガードレールなどの整備によるハード対策を組合せた効果的な対策を速やかに実施すべきではないか。

また、保護者やセーフティボランティアの皆さんに点検結果を報告して、安心感を持っていただくとともに、見守り活動に役立てていただきたいと思うがどうか。

A 大津町内の小・中学校の通学路は必ずしも安全とは言えない。各校区から要望があった危険箇所の現地を実際に調査して回り、どのような対策が効果的か、問題解決にはどのような課題があるのか調査し、すぐに対応ができるもの、用地等が必要で解決には時間を要するものなど、把握している。今後も関係機関と連携しながら通学路交通安全プログラムを実施して安全確保に努めたい。

(教育長)

Q 町民の幸福量が増すような取り組みを

A 住民の幸せ、安全につながるよう進める

たしろ げんき
田代 元気議員



工業団地予定地

その他の質問

- ・運動公園周辺の活性化とアウトレットモール誘致について

Q 今回事業を進める工業団地予定地では農地が広がっている。そんな中、予定地やその周辺で農業を営む人から様々な不安を抱える意見を伺っている。そのような人々に対し、町はどのように対応して行くのか。

A 農家の人々からは、代替地をしっかりと確保して欲しいと要望を受けている。農業の衰退は農工商併進としたまちづくりの脆弱化や食料の安定供給の衰退につながるかねるため、代替地の確保も含め、最大限対応していきたい。

また、道路問題についても整備期間中及び企業が立地した後も、子どもたちや近隣住民の安全をしっかりと確保していく。

(町長)

Q 朝夕の交通渋滞の解消対策について

A 空港アクセスへ南北縦断道路整備をする



資料1

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



Q 町中心地域の朝夕の酷い交通渋滞の解消を町はどう考えているのかを問う。

大津町まちづくり町民懇談会の意見の中にも朝夕の交通渋滞の質問が多く出ていた。

町長の101の具体策の54で生活道路の渋滞緩和と52の南北縦断道路の新設が書いてあるが、渋滞の解消対策をどう目指すかを問う。

A 渋滞対策については町内の状況を調査分析し、改善策を検討するための予算を提案する。資料1で提案があった南北

線は利用需要や費用対効果中長期の財政計画等も研究し事業化の是非を判断する。

南北を縦断する路線を考えた場合、北側復旧道路の大津インターチェンジから森橋を渡り鳥子川から南部農免道路から阿蘇くまもと空港までのルートになる。（町長）

調査を実施したうえで交通量が多い朝夕の時間帯に、道路の青色表示の割合を多くする信号制御や右折レーン新設などの対策を検討する。

（都市整備部長）

その他の質問

- ・地域駆除隊の活動は、年間を通して活動できるようにすべきだ。
- ・岩坂などの白川左岸地区からの高遊原への避難道路新設を急いで。

Q 早急な三吉原北出口線道路の補修を

A 令和6年度からの事業着手を考えている



地域住民を悩ます振動・騒音のある町道
（三吉原北出口線）

やまべ りょうじ
山部 良二議員



Q 昨今の交通量の増加により、地域住民は渋滞はもちろん振動や騒音に悩まされており、振動により外壁にひび割れのある住宅もある。10tダンブが道路に及ぼす衝撃は普通車の数万台以上に相当すると言われており、早急に大型トラックに対応した舗装厚の道路補修（舗装打ち換え工事等）や騒音対策が必要ではないか。

A 国の道路ストック事業の国庫補助に依拠して状態の悪いところから順次「舗装打ち替え工事」を行っていく。また現在、町道並みの舗装厚ではあるが、今後は県道並みの舗装厚に変えて整備していく。騒音に関しては、中九州横断道路の早期開通ができれば、騒音解消につながると思われる。また、騒音振動問題に関する調査を検討し、対応方法や、補償の義務についても検証していく。

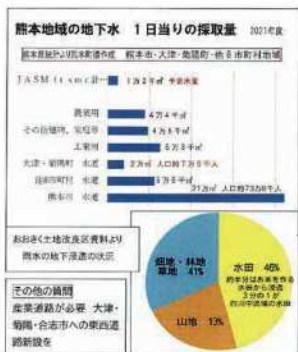
（町長）

その他の質問

- ・「シビックプライドの醸成」について
- ・「誰1人取り残されないまちづくり」について
- ・「地域公共交通」について

Q JASM(半導体工場)関連の地下水大量取水の心配、未然防止が大切

A 地下水の状態把握と情報公開、地下水かん養の補助拡大すすめる



熊本市・宇土市・合志市・星野市の一部・大津町・菊陽町・西原村・熊野町・益城町・伊達町 (4市7町村)

熊本市・宇土市・合志市・星野市の一部・大津町・菊陽町・西原村・熊野町・益城町・伊達町 (4市7町村)

熊本市・宇土市・合志市・星野市の一部・大津町・菊陽町・西原村・熊野町・益城町・伊達町 (4市7町村)

熊本市地下水保全条例のポイント

- ① 地下水は、公共性のある貴重な資源。
- ② 未然防止・万が一にも汚染や枯渇を防止。
- ③ 水を守る義務・事業者・県市町村、県民。
- ④ 大口汲み上げは(事業所など)許可制。

※特に熊本市周辺は人口100万人の重点地域
熊本市・宇土市・合志市・星野市の一部・大津町・菊陽町・西原村・熊野町・益城町・伊達町 (4市7町村)

半導体工場と関連企業の地下水大量取水による水位の低下と汚染の心配は他人ごとではない。地下水の汚染や枯渇を未然に防ぐことが大切であり、大津・菊陽水道企業団の取水井戸30カ所の地下水位の変化の記録と公表が欠かせない。

地下水利用企業は「田んぼへの水張りなどで地下水かん養」に補助するとしているが、畑を含む農地そのものが熊本の地下水保全に貢献している。公共の地下水を大量に使用する企業は、それに見合った負担を地域に還元すべきではないか。

JASMの一日の地下水採取予定量は1万2千m³で年間438万m³。地下水の状態を把握するため大津・菊陽水道企業団の井戸水位データを分かりやすい形で公開できるよう進めている。

JASM工場敷地内で7本の井戸で取水試験を行い、県が1km以内の影響調査を行っている。地下水かん養の補助は、地下水財団が中心となっており財団に参加企業などが地下水0.3円/1m³の寄附を行っている。地下水かん養が広がるように反当りの補助を増やすことも提案したい。

(町長)

Q 高齢者の社会とシルバークラブ(老人クラブ活動)の活性化

A 町も働きかける

クラブ名	
1 外牧老盛会	9 今村未来会
2 大林老人会	10 原口長生会
3 森老人クラブ	11 (中学通り)老人クラブニコニコ会
4 後迫老人会	12 つつじ台クラブ
5 東区光寿会	13 桜花会
6 灰塚長寿会	14 片俣かたろう会
7 新区令名会(旧:新区老人会)	15 岩坂寿クラブ
8 矢護川下中老人クラブ	

人が毎日を楽しく生きていくには、生き甲斐が欠かせないと言われる。高齢者は社会から隔離されがちであるが、経験を活かし、社会で活躍、貢献するべきだと思う。町は高齢者に意見を聞き、簡単な仕事を依頼すれば町の活性化のみならず、高齢者の社会参加・生き甲斐につながるのではないか。

今のシルバークラブは農村部の集落を核としているのが多い。町が指導してスポーツ愛好者、音楽愛好者、花の愛好者、歴史愛好者などのシルバークラブなどがあってもいいのではないかと。町

との接点ができるように新しい形態を積極的に町が募集、指導するべきではないか。

シルバークラブは会員本位の自主的かつ民主的に運営される。現在は集落単位で構成されているが、様々な形態のシルバークラブの活動、在り方が考えられる。(町長)

シルバークラブがより充実するために、住む場所に限らず全国での事例など調査研究し、高齢者の生きがいや健康づくり、地域貢献にもつながるように町も働きかけていく。(住民福祉部長)

その他の質問

- ・日吉神社と大松山のトイレの件
- ・町が管理する公園等の清掃について
- ・大津町体育施設等の指定管理契約における契約担当者の行政経験について

Q 牛乳を守るための物価高騰対策は

A 交付金を活用しながら支援していく

おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



その他の質問

- ・持続的な農業を推進するためのスマート農業の推進について
- ・Chat GPTの利用について
- ・農業を教える大学との連携について

Q 酪農家においては、2014年にバター不足が問題になり、その際に、国が増産を促すために、クラスター事業という補助金を出し、畜産業の規模拡大を促した。そして、その際に大きく投資を行い、規模拡大をし、その成果がやっと出てきたタイミングで、コロナにより生乳需要が冷え込み、今度は供給過多になったことで、生乳の廃棄が行われ、酪農家にしわ寄せが一気に降りかかり、追い打ちをかけるように飼料の高騰が起きている。

A 農家に対しての事業者支援を行う。今回は特に酪農畜産農家に重点を置いた支援策となっている。また、牛乳や乳製品の消費拡大においても、学校給食を主に町民の皆様にも、広く消費を呼びかけていく必要があると認識をしている。

例えば、各種イベントでのPR活動を実施するなどのアイデアを出し合いながら、消費拡大に取り組んでいきたいと考えている。

今後も、各農業団体による独自の支援にあわせ、国や県による支援についても継続して強く要望を行い、町としても今回のように交付金も活用しながら支援を行っていく。(町長)

Q 免許証返納時に特典を

A 秋以降の公共交通実証実験に合わせて開始

さんのみや みか
三宮 美香議員



免許証返納時の近隣自治体の特典

市町村	サポート内容
菊陽町	町が設定した条件をクリアした人には運転経歴証明書の交付に係る申請手数料に対する補助金を交付。(補助金の額は1,100円) タクシー利用券30,000円分を1回限り交付。
西原村	75歳以上で車の運転をされない(できない)方、障害手帳、療育手帳をお持ちの方に1枚500円のタクシー券、年間60枚交付。【免許証を返納された方は1回に限り、20枚追加交付。】
合志市	町が設定した条件をクリアした人にはコミュニティバス回数券(自主返納者無料乗車券10枚綴り10セット)を1回限り交付。

その他の質問

- ・渋滞緩和に向けて
- ・外国人も住みやすい大津町に
- ・これからの図書館
- ・給食費無償化

Q 近隣自治体は免許証返納時にタクシー利用券の交付など特典があるが大津町は無い。以前の質問への回答は入り口だけを制度化しても特典にはならないという回答であった。しかし、入り口を整えることが免許証返納のきっかけにもつながり、ひいては大津町内の交通安全効果が考えられるが、免許証返納時に特典をつける気持ちは無いか。

A 5月に実施した地域公共交通会議で新たな検討を始めている。既存バス車両の試験運行を秋以降から実施し、それに合わせて免許証返納者への特典を開始設定する。それにより乗り合いタクシーやバス活用を推進し、公共交通での移動に慣れるような仕掛けを検討している。(町長)

Q 本町での創業支援及び創業後のサポート支援

A 商工会等、意見を伺い使いやすいよう見直す



にしかわ ひでつぐ
西川 秀貢議員



商工会 活いき商店街事業補助金
(平成16～20)を活用して起業した店舗

その他の質問

・人材開発支援助成金を活用した研修派遣事業を本町のニーズにあった事業、企画に変えるべき

Q 現在本町での創業又は創業を考えている事業が増えている。
しかし、資金面での工面が悩まされている。
そこで、町独自の支援が必要である。
創業に対する融資金利補給制度の見直しと、保証協会に支払う保証料の助成を行い事業所に対する更なる後押しが必要。

A 大津町中小企業特別小口資金融資制度や大津町中小企業店舗新築・改装工場機材及び駐車場設備融資金利子補給制度、中小企業向けの制度など、商工会と連携し、より使いやすいうように見直しを図る。
景気動向や消費者心理が改善している今がその時期。
(町長)

正しい専決処分の在りかたについて 工業団地整備の進め方について

ながた かずひこ
永田 和彦議員



論点

質問の相手はすべて町長です。

正しい専決処分の在りかたについて

年度末3月31日午後指定管理恵沢の経緯と不備が有った説明を行い会議を開かず専決処分をすることは議会制民主主義の冒涇であり乱用である。
地方自治法第101条では臨時議会を1日前の告示でも開くことができる。

多くの疑問点が指摘された指定管理契約を監査に付していない事実。

工業団地整備の進め方について

南部工業団地は県の企業紹介で開発したがキャンセルされ多くの借金で苦しんだ経緯がある。大津町は県に対して貸しがあり、県は町に対して借りを返すのが筋である。

T S M C 進出により関連企業進出の用地不足を解消するため県主導工業団地が周りの市町に多く開発される。大津町は町が借金して開発するが理不尽と思える。

※ 録画配信をご覧ください！

地方自治法で定められた専決処分

179条 専決処分の要件

①議会が成立しない②議会の会議を開けない③緊急を要するため議会の招集する時間的余裕がない④議会で議決すべき事件を議決しない

専決処分の対象

副知事または副市町村長の選任は対象外。

報告義務

首長は次の議会で報告し、承認を求めなければならないが、不承認になっても効力は失われない。

180条

(議会の委任による専決処分)

軽易な事項で議会の議決で特に指定したもの。首長は議会に報告しなければならないが、承認を求める必要はない。

工業団地整備の進め方について



次回はぜひ「投票」ができる選挙を

議長の諮問を受け、4項目について検討・答申

議会活性化検討会議^{※1}は昨年12月から、前回選挙の無投票を踏まえ、議会の活性化について議員のなり手不足の視点から議論し、4つの項目について今後の取り組みや方策案を議長に答申しました。

今後は議会としてこの答申をもとに議論を加え、方針・施策を決定し、実行していくことになります。

○実現したいこと
△検討すべきこと

項 目	なり手不足解消の視点からの意見	答申の骨子（方策案）
町民との接点 （交流・情報発信）	- 議会・議員の活動が知られていないことが影響している。 - 個々の議員活動についての発信が求められている。	○議会ホームページを充実させる。 ○議員の日常活動の報告の場をつくる。 △議員個人のSNSなどのリンク集の提供を検討する。
議員定数	- 無投票だった事も踏まえ、定数を削減する必要があるのではないか。 - 定数の減が必ずしもなり手不足の解消につながっていない実態がある。 - 定数減による無投票回避では民意を反映することにはならない。 - 人口・財政規模が増大するなか、議員数の減は不合理。	○現在の定数は妥当であり、今後の町の変化への対応のため少なくとも現状の維持は必要。 △議員数を減らすことによって生じる弊害についても認識すべき。
議員報酬	- なり手確保のために、特に若い、子育て世代での生計の一定部分を保障する額が必要。 - 全国町村議会議長会なども、なり手不足解消に向けた増額を示唆し、具体的な算出方法等^{※2}も提示している。	○増額を検討すべき。それにあたっては議長会モデルなど合理的な算定手法などデータを示し、「特別職報酬等審議会」において審議することを求める。 △並行して議員の活動の見える化に取り組むことが不可欠と考える。
政務活動費	- 議員の活動量が増えた状態では必要ではあるが事務的な煩雑さも伴う。 - 現状では議員報酬が活動経費をも含んでいる状態であり、議員報酬との関連性がある。	○必要性は高いが、運用の煩雑さがネックとなるため慎重に考える。 △上記の審議会の検討・結論を踏まえて再度議論すべき。

住民との意見交換会を実施

検討会議の議論の過程では、議員インターンシップを経験した学生さんやまちづくり活動に取り組む方などに集まっていただきご意見をいただきました。

議員のなり手不足の視点からの意見を求めたところ、やはり「議員の日頃の活動の見える化」が必要との意見が多く聞かれました。

※1 議会活性化検討会議：このテーマの検討のため議長の指名した5人の議員による非公式な会議体。（佐藤、山本、大塚、田代、大村）

※2 具体的な算出方法：全国町村議会議長会が提示した議員報酬算定の考え方



議員定数や議員報酬などへのご意見ご感想をお寄せ下さい。

gikai@town.ozu.kumamoto.jp ☎096-293-8989 議会事務局



経済建設委員会 視察レポート

視察テーマ

九州農業WEEK視察研修



令和5年5月24日に経済建設常任委員会において、第一回九州農業WEEKの視察研修を行いました。

農業用ドローンやハウス内環境の自動システム、6次産業化を進める上で必要な機材システムなど、今後の農業の形を考える上での知見を養うことができました。

また、農業の人手不足や後継者問題など、様々な問題を抱える中スマート農業化による新たな仕組みや、負担軽減のための機械など次代の流れを感じました。

今回の視察で、さらなる農業の発展を感じることができ、これから町の農業の発展に寄与できればと考えます。

経済建設委員会 意見交換会

大津町企業連絡協議会との意見交換



令和5年6月28日に経済建設常任委員会と大津町企業連絡協議会と意見交換会を行いました。

意見交換会内では、人材確保を行う上での問題点に関するご意見や町内高等学校からの採用状況、渋滞の解消に関するご意見、工業用水道と下水道に関するご要望を頂戴しました。

中でも、人材確保や工業用水道に関しては、喫緊の課題である点を企業連絡協議会と共有することができました。

今回の意見交換会を通じて、企業の発展を更に後押しし、工業の躍進の一助となるよう努めていきます。



～出前講座～大津小学校生が議場で学ぶ



税務課
なかむら しゅんすけ
中村 春介



税務課
はやしだ けんすけ
林田 健佑



議会事務局
いづか あやな
飯塚 彩菜

大津小学校6年生の皆さんが1クラスごとに6月27日(火)、29日(木)、7月6日(木)に議場を訪れました。

初めて入る議場で実際に議席に座ったり、マイクで発言したりと、議会の雰囲気を経験して興味津々の様子でした。

出前講座では、はじめに議会事務局の担当者が議場のモニターを使って町議会についての説明を行い、次に税務課の担当者が町税について説明をしました。

小学生たちは、町議会について、「議会はどんなことを話し合うのか」、「議会は一年間に何回あるのか」、町税については、「税を払わないとどうなるのか」や「一日どれくらい税金を使っているのか」といった質問が出されていました。

最後に議会事務局の職員が町長役となって模擬採決が行われ「大津小学校の校庭をテーマパークに変えたい」との議案は賛成12票、反対3票で可決となり、「給食をチョコレートにすること」と、「大津小学校の校庭の半分に遊具をおき運動会などは半分の面積で」との2つの議案は賛成1票、反対14票で否決となりました。

出前講座を企画した先生は、実際に教科書で学んでいる場所へ行き、より身近なものとして大津町を好きになり、子どもたちが生き生きと活躍してもらえるようなきっかけになったと感じました。と話されていました。

インボイス制度に関する請願で参考人招致

令和5年第3回定例会において、請願(陳情)第1号「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書について総務委員会は審議不十分との判断のもとに、継続審査としました。

継続審査とは議会の会議に付せられた議案等の事件を当該会期中に審議が終了せず、付託された委員会が閉会中も継続して審査することで、より深く内容を審議する制度です。

5月31日有識者として菊池郡市地域で活動する税理士を参考人として招致し6月定例会で委員会で全員賛成で主旨採択をいたしました。



参考人招致にて判明した点

- ・ インボイス制度は法の下に実施する制度で違法ではない。
- ・ 参考人の団体をはじめ、全ての事業者、フリーランスが反対をしている訳ではない。
- ・ 本請願にあるような企業倒産・廃業を誘発する根拠はなく具体性に乏しい。

インボイス制度の導入に関し「反対・廃止」を求めるのではなく、法の下に定められた制度を運用するにあたり小規模事業者等に「一定の配慮を求める」旨の請願内容を修正し、「消費税インボイス制度による小規模事業者の事業運営への影響に配慮する措置を求める意見書」として議会にて賛成多数で承認されました。

若者の視点

尚綱大学生によるレポート 32

大津町議会(一般質問)傍聴の感想

さる6月11日、12日、13日に行われた大津町議会一般質問をオンライン傍聴し、その後社会調査法という授業の受講生に議会傍聴の感想を書いてもらい、授業内で発表会を行いました。以下学生によるオンライン傍聴の感想を一部ご紹介します。



議会傍聴全体及び議員の質問に対する感想

4月に出席した意見交換会で「議会では議員は住民の代表として町をよくするためにどうお金を使うかについて議論している」ことを学んだ。実際に議会を傍聴してみると、公園のトイレや図書館、渋滞緩和など自分にとっても身近なことが話し合われており、さらに子どもや高齢者、外国人など関連する様々な話題が挙げられていた。どんな人にも暮らしやすい町を目指していることには感心した。

議員による「チャット GPT の利用について」という質問に関しては、自分自身 AI というものの憧れや興味があったので興味深かった。しかし、自分のような若者が興味を抱くトピックが「議会」という厳格な場で話題に出されることを意外に思った。業務効率化のために取り入れていきたい、という方針が示されていたが、自分としてはただ便利なものを簡単に信用することができない。最終的には人間のチェックが必要になるだろうと思う。



現代文化学部
1年

じょう じゅり
城 朱里さん



現代文化学部
1年

もりなが
森永 りんさん

初めて議会を傍聴した。厳粛な雰囲気だったので、それなりに緊張した。どんな質問があるかは事前に分かっていたが、再質問などあった時は私だったら焦って答えられないが、再質問に丁寧に答えられている役場の方は凄いなと思った。また、相手が話されたことをすぐに理解して再質問をしたり、答えたりしていたのが凄いなと思った。私にはすぐ理解するのが難しい質問内容などもあったので、町を代表する方々はいつも難しい課題に取り組まれてすぐに問題点などを把握されていることに感心した。

議員の渋滞緩和についての質問の感想として、朝からの渋滞緩和は早く解決されるべきだと同感した。朝は通勤・通学の人が多いので間に合わないかもしれないという焦りから重大な事故が起きてしまう可能性もはらんでいるので、すでに数十年渋滞しているとのことなので、交通問題は早めに解決するべきだと思った。

議会を観ての生の声

6月定例会の傍聴者数のべ27人、ライブ配信再生回数632回 録画配信再生回数248回(7/20時点)

子どもたちが安心して暮らせることを一番に考えてほしい



さきだ きくこ
笹田 喜久子さん
(杉水)

姉に誘われて初めて議会の一般質問を傍聴しました。

傍聴して感じたことは、質問をされる議員さんは課題を解決するために現場に足を運んで調査をしたうえで質問をされていること、そして質問に対して真剣に答弁をされていることで町が良くなっているのだと思いました。

議場では、全議員さんがタブレットPCを活用して他の議員さんの質問も真剣に聞かれている姿が印象に残りました。

私が住んでいる護川小学校区には、新たに工業団地が整備される予定になっていますが、子どもたちが安心して暮らせることを一番に考えてほしいと思います。

議会だより創刊時から見えています。

住民と議会・住民と行政の懸け橋となり、住民自治の拡大と強化につながり住民総参加型のまちづくりの一助となることを目的に創刊されたと聞いています。

議会での活動、特に議決が内容をわかりやすく、町民の皆さんが興味をもって読んでもらえるようにと創意工夫され、しっかり励んでおられると思います。

今回の議会を傍聴して思いますが、議会の一般質問は質問する議員も答弁する執行部ともに、十分に内容を精査し、通告制のもとに、研究と準備を十分に行うことが必要であり、議員の最も重要な活動の一環であり、根拠に基づいた質問・質疑はまちづくりへ大いに貢献できるものでしょう。行政全般に意見を述べる議員固有の権能として与えられる内容について詳しく知りたい方は多いと思います。

議会だよりに掲載されるそれら議会の審議の内容は、町全体の今後の発展に大きく影響するものなので、内容を充実させ、今以上に多くの皆様に詳しく読んでいただく内容になるよう期待しています。



なかやま じゅんひで
中山 純秀さん
(鳥子川)

次回定例会は

9月1日(金)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 9月1日(金)～15日(金)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集 (委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委員) 時松 智弘 / 田代 元気 / 大村 裕一郎

発行責任者: (議長) 桐原 則雄

令和5年8月1日 第104号 発行/熊本県菊池郡大津町議会

編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

●●●●● 編集後記 ●●●●●

Honda 熊本が東京ドームで行われる都市対抗野球大会への出場決定や南阿蘇鉄道の肥後大津駅乗入れなど町内で嬉しいニュースが続いております。そして、大津町でも夜市の開催などコロナ前の活気が戻りつつあります。

しかし、この季節は大雨や台風等の災害が心配になる時期でもあります。

議会としても継続して取り組むべき課題ではありますが、その取組を議会だよりでしっかり発信できるよう精進してまいりたいと思います。 (大村)